

湯河原城山ハイキング

日時：2023年7月22日（土） 天候：晴 健脚LV2 歩数：23000歩 行動時間：6時間

集合：JR湯河原駅10時

コース：湯河原駅→城願寺→兜石→芝生広場（昼食）→城山（標高563m）→椿台→城山隧道→しとどの窟→沢沿い下り道→林道→幕山公園→五郎神社→湯河原駅

参加者：熊坂L 山田SL 畠SL 三田SL 勅使河原 平石 渡辺ち 河野 清水 市村 奥村
高山 高橋友 岩元 加納 松本 芦田 大城 工藤 飯倉 田村 21人

熊坂リーダーの「2019年7月に吉野リーダーで行ったコースです。アジサイが綺麗だったのでコース企画をしました」の呼びかけに、JR湯河原駅に21人が降り立ちました。

コースは、平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての武将土肥実平が山城を築いた標高563mの城山をめざすハイキング。山頂では、期待通りに青・紫色の鮮やかなアジサイが出迎えてくれました。そして800年前の源頼朝伝説、「兜石」「しとどの窟」も訪れました。

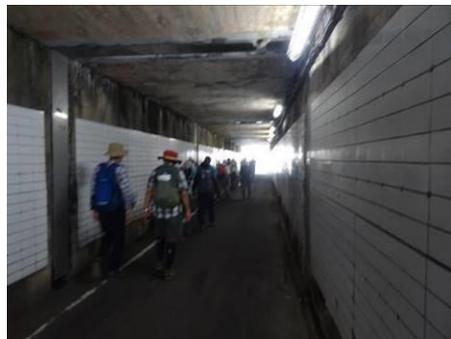
「今年の夏は暑い」と思わせるように最高気温35℃超えの日が続きましたが、20日頃から幾分気温が下がり始めて22日の最高気温は30℃を少し超える程度。それでも夏のハイキング、熱中症予防のため30分間隔で水分補給、昼食は真鶴半島が一望できる風通しの良い木陰でとるなど万全の対策をとりました。事故なく楽しく達成感いっぱい幕山公園に下山しました。

気象庁はこの日「関東甲信地方は7月22日に梅雨明けしたと思われる」と発表しました。7月23日は二十四節気の「大暑」、一年で最も暑いころという意味で本格的な夏を迎えます。城山山頂を踏破して、暑い夏を乗り切る自信がついた夏ハイキングでした。



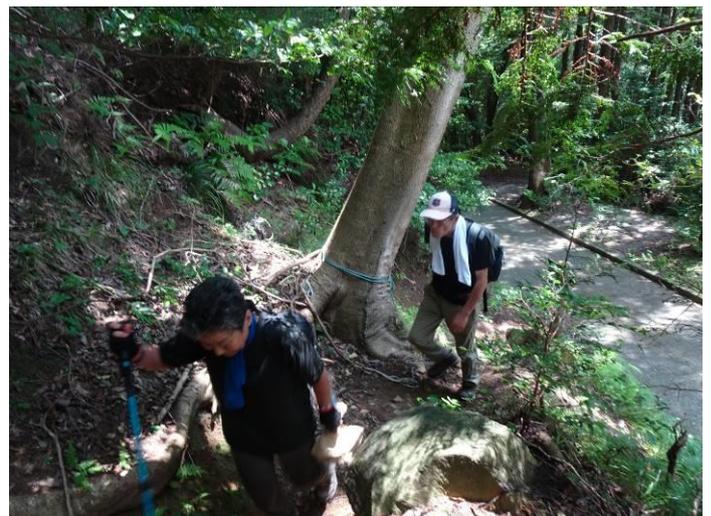
湯河原駅 土肥実平と妻の銅像 館跡の石碑 10時スタート～城願寺

湯河原は土肥実平ゆかりの地です。実平は、標高563mの城山に山城を築いていました。湯河原駅から城願寺あたりに居館があったということで、駅前ロータリーのところに「土肥実平と妻の銅像」と「館跡の石碑」が建っています。駅前広場で熊坂リーダーがコース説明、10時にスタート。東海道線沿いを東に進むと、「城山(土肥城跡)へ3600m」の表示がありました。東海道線ガード下を通りアスファルト道を上り10時10分、実平が創建したと伝えられる城願寺へ。参道を上ったところに、かながわの名木100選、樹齢800年、幹回り6mの「城願寺のビャクシン」が出迎えてくれました。



城願寺 10時18分～アスファルト道～かぶと石案内板～急峻な山道

風が吹き抜け蝉のなきごえが聞こえてくる境内でストレッチ、城願寺を10時18分にスタート、再びアスファルト道へ出ます。いきなり急登の上りで照り返しも強く汗がふき出てきます。民家が少なくなり、竹林の横を上って行くとどなたかが「キウイがなっている」と言われたので写真をパチリ。アスファルト道の上がりが続き11時丁度、山道へ入る入り口に「かぶと石」の案内板が出てきました。「源頼朝が石橋山の合戦で敗れ、逃れている時に兜を脱いで休息したとされるのが兜石」と伝えられています。水分補給をして、熊坂リーダーを先頭に急峻な山道に入ります。最後尾を務めるのは畠サブリーダーです。



頼朝が休んだかぶと石～「山頂へ900m」の道標～11時40分 芝生広場

「70mほど登るとかぶと石」の案内版のとおり、上り始めてしばらくするとかぶと石が見えてきました。「逃亡してきた頼朝がどんな思いでここで休んだのか」など思いを馳せながら巨大なかぶと石の前を歩きました。10分ほど山道を上ると再びアスファルト道へでました。少し上ると今度は「立石」の案内板、80m先の下り道なのでここはスルー。「城山山頂へ900m」の道標が出てきて、アジサイが咲くゆるやかな上りの山道へ入りました。11時40分、山頂少し手前のところで脇へ入り東屋がある芝生広場に到着。南に相模湾、真鶴半島が一望でき、南斜面の下から風が吹いてくる心地良い広場です。



東屋の下や芝生斜面の木陰で昼食タイム 相模湾・真鶴半島背景に集合写真

東屋の下や芝生斜面の木陰に分かれて待望の昼食タイム。暑さの中を歩いてきてかなり疲れはありましたが、風があり景色も良く疲れが吹き飛びます。木の枝に汗まみれのシャツやリュックをかけて乾かしていたのは大城さん、「陽が当たるところに干したら」の声もありましたが、風があったので大分乾いたことでしょう。広場下にはトイレもありました。昼食後、相模湾・真鶴半島を背景に集合写真をパチリ。



広場 12時18分～12時26分 アジサイ咲く城山山頂(標高563m)

12時18分、午後のスタート。山頂まではもう少し上ります。きれいな白ユリが咲いていました。12時26分、標高563mの城山山頂に熊坂さんがVサインで到着。青・紫色の鮮やかなアジサイの花が咲いている山頂登山道に続々と上って来ます。笑顔の岩元さん、軽やかな三田さん、カメラ目線をとってくれた清水さん、ベテラン加納さん、サングラス姿の工藤さんと芦田さん、団扇でポーズをとってくれた田村さん、健脚初参加の飯倉さんと後ろは山田さん、笑顔の河野さん、高橋さんと大城さん、奥村さんと松本さん、いつも元気な最長老勅使河原さん、渡辺さんと高山さん。みなさん山頂踏破で達成感いっぱいの顔でした。



城山山頂 12時35分～樁台～城山隧道～13時23分 しとどの窟

土肥城址石碑の前にもアジサイが咲いていました。標高563mの山頂標識を挟んで記念写真、加納さんがシャッターを切ってくれました。12時35分、樁台、しとどの窟をめざします。ずっと下りかと思いきやアップダウンのあるコースでした。30分ほど歩いて樁台へ到着、県道76号湯河原箱根仙石原線の樁ラインの景観の良いところで神奈川景勝50選の地です。「しとどのいわや」バス停がありました。水分補給をしてスタート、城山隧道を通り抜けるとここからは道脇に地蔵さんなどが並ぶ下り道。大分下りて13時23分、薄暗い洞窟へ到着。洞窟岩壁の上から水が流れ落ち、数多くの石仏があるしとどの窟です。



ししどの窟 13時30分～沢沿い下り～林道～14時27分 幕山公園

ししどの窟は、源頼朝が1180年に石橋山の戦いに敗れて平氏から身を隠したと言われる洞窟です。「こんなところに隠れていたの」などと800年以上の昔に思いを馳せながら薄暗い窟の石仏群を眺めました。13時30分、ここからは沢沿いを一気に下ります。先頭は三田サブリーダー、続いて工藤さん、河野さん、田村さん。真ん中グループは清水さんや飯倉さんなど8人。後続グループは畠サブリーダーを先頭に最後尾を務める山田サブリーダーたち。真ん中グループは14時1分に登山道入口へ下りて林道へ。後続グループも林道を下りて分岐で合流。幕山下の緩やかな道を下りて14時27分、幕山公園の東屋に着きました。



幕山公園 14時50分～五郎神社～16時 湯河原駅 歩数:23000歩

東屋の下で水分補給と「暑い中良く歩いたね」などとしぼし談笑。クールダウンをして14時50分にゆったり気分で五郎神社へ、事故なく安全に下山できたことを感謝。交通量の多いバス通りを南下、東海道線脇の緑多い小道を歩き湯河原駅をめざします。16時丁度に湯河原駅へ到着。歩数は2万3000歩でした。



私が城山に登ったのは3回目。1回目は2015年12月19日、吉野リーダーで、湯河原駅→幕山(626m)→大石平→しとどの窟→城山→城願寺→湯河原駅コースの2万9000歩。参加者は30人(勅使河原 吉野 五十嵐志 五十嵐し 熊坂 大平 青松 菊池 中村年 平野 小林 河野 清水正 長井 小山文 伊藤美 加来 福士 栗田 山川 横田 市村 高橋紀 山下 山口 中村ゆ 小田 武倉 高塚 加納)。2回目は2019年7月24日、吉野リーダーで今回とほぼ同じコースの2万4000歩。参加者11人(勅使河原 吉野 小作 常盤 平石 熊坂 菊池 清水正 市村 加納喜 三田)。3回一緒に歩いた人は、勅使河原さん、熊坂さん、清水さん、加納さんの4人。(いちむら記)